

I 平成30年度予算案について

誰もが輝くまちへ 未来への種を蒔く予算

強固な財政基盤を構築するとともに、50万人都市としての多様な行政需要への対応、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた準備、その先のレガシー構築を見据えた施策を打ち出し「未来への種を蒔く」ことで、誰もが輝けるまちへ発展させる予算

1 予算編成の基本的な考え方

<目指すもの>

- (1) 50万人都市としての多様な行政需要や、東京2020大会に向けた準備、その先のレガシー構築など、区政課題は日々高度化・複雑化しています。こうした中、区政課題に的確に対応し、未来への財産を残していくため、「江東区長期計画（後期）」で掲げた目標を確実に達成するとともに、柔軟な発想と実効性に富んだ意欲溢れる施策を充実していきます。
- (2) 少数精鋭の体制においても、多様な区政課題に迅速・的確に対応していくためには、事業の優先順位を見定め、その新陳代謝を促進していく必要があります。基礎自治体として担うべき本区の役割を踏まえつつ、事業の必要性や実施効果、経費の妥当性や後年度負担について不断の検証を行い、自律的に事業の見直しを図ることで、地に足付いた施策を展開していきます。
- (3) 景気動向や税制改正等の影響を受けやすい歳入環境にあっても、安定的な行財政運営を行うため、「江東区行財政改革計画（後期）」の着実な実施のほか、職員の創意工夫のもと、多様な歳入確保策を検討・推進し、持続可能で強固な財政基盤を構築していきます。

<将来人口の想定>

江東区長期計画（後期）では、将来人口を次のとおり想定しています。

〔将来人口〕

（単位：千人）

	現 況	推計（平成31年）
人 口 （うち外国人住民数）	513 (28)	521 (24)

（注）現況：住民基本台帳人口（平成30年1月1日現在）

平成31年：推計値（1月1日現在）

※人口には、外国人住民数を含む

<行政評価を予算に反映>

913の事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性の観点から行政評価を行い、平成30年度当初予算に反映させました。

2 予算規模

区分	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率 (%)
一般会計	1,929億5,200万円	1,996億4,200万円	△66億9,000万円	△3.4
国民健康 保険会計	542億5,600万円	631億9,900万円	△89億4,300万円	△14.2
介護保険 会計	344億6,600万円	313億9,700万円	30億6,900万円	9.8
後期高齢者 医療会計	96億5,000万円	91億3,100万円	5億1,900万円	5.7
計	2,913億2,400万円	3,033億6,900万円	△120億4,500万円	△4.0

3 主な事業の件数と金額

事業内容		件数	金額
長期計画に定める 主要事業	施設 (ハード事業)	34件	179億5,400万円
	非施設 (ソフト事業)	19件	54億4,700万円
新たな取組み(主要事業を含む)		36件	81億1,300万円
事業の拡充(主要事業を含む)		48件	18億6,300万円